

# 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 65号

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

発行日 2014. 10. 27

編集 芳村恵子

## 「平成26年度 第20回中国・四国ブロック 青少年育成アドバイザー研究集会」 決算会と慰労会

とき 平成26年10月23日(木)  
ところ 倉吉シティーホテル  
出席者 山本会長 清水 万木 西上 東  
石田 西浦 井上 松原 芳村

西上さんより、会計報告及び報告書の作成に向けての原稿案が多くの写真と共に提示された。参加者からの感想の中には、単なるお楽しみ会ではない学びの会であったとお褒めのことばもあった。また「森の幼稚園まるたんぼう」と題しての西村早栄子さんの講演は、今回の研究会のまとめになるお話で好評だった。その報告書を出席者に送付する形(印刷・CDなど)と方法について検討した。

その他の議題として、事務局長を担ってくださっていた菊澤さんが亡くなったため、後任の選出が必要となった。そこで、新川さんが快諾してくださり、新事務局長が決定した。宜しく願いいたします。

ところで、美味しい食事と飲み物片手に、アドバイザーの今後に向けても、和やかにそして真剣に話し合われた。

青少年健全育成県民運動として、親や大人、社会のモラルの向上のために『大人が変われば子どもも変わる運動』を、地域の子どもは地域で見守り育てるために『地域のおじさんおばさん運動』を長年目指してきた。しかし、国民会議のスローガンとしてきた『伸びよう 伸ばそう 青少年』に立ち返って、子どもを中心にして、子どもの出番を作ることがイメージされるものを考えなければならないのではないかという意見が山本会長より出された。そのためにも、まずは我々が、どういう青少年をつかっていきたいのかを明らかにし、大人がその自覚を持って子育てをしなけ

ればならない。

こうして青少年について考えることは、結局大人の問題でもあり、家庭・地域・社会そして政治の問題にもなっていく。今後、アドバイザーの未来のためにも、今熟慮して結論を出していかなければならない問題だと思われた。

しかし若者の中には、「最後は生活保護を受ければいい」という人もいるとか。我々は、夢を持ってない若者に何とか自分の役割や出番を見いだせる関わりができるよう、この鳥取から日本全国に発信していこうと、大きな夢も語られた。



### <こぼれ話>

東さんの娘婿さんから、誕生日のプレゼントとして大きなケーキが贈られたそうです。何と微笑ましいことでしょう。おめでとうございます。これからも、大きなケーキをかぶりつくことができるよう、お元気でいてくださいね。

研究集会で頂いた西上さん作の風車、ある方は「玄関でお客様のお迎え役」であったり、「パソコンの傍で癒しグッズ」「部屋を飾るインテリア」としてなど、心地良いかぜを感じさせて頂いています。

<お知らせ>

平成 27 年度 中国・四国  
青少年育成アドバイザー連合会研究集会  
松山大会

研究テーマ

「語ろう しゃべろう

これからの青少年育成」

日時 平成 27 年 8 月 29 日 (土)

～8 月 30 日 (日)

会場 四国 道後温泉 古湧園

主催 愛媛県青少年育成リーダー協議会

皆さん こそぞって参加しましょう !!

### 「第 48 回青少年育成鳥取県民大会」

に出席して

芳村 恵子

とき 平成 26 年 10 月 19 日 (日)

ところ 大山町保健福祉センターなわ

秋の空らしく、すっきりと晴れ渡った日、その天高くまで届くような太鼓の音で大会が始まった。

名和中学校轟太鼓クラブ 12 人の息ぴったりの演奏は、聴いている私の身体にビンビン響いて身動きできない位に物凄いものだった。

「15 回しか練習できなかった」と言われていたが、あのリズム感と集中力そして自信に満ち余裕さえ感じる表情は、それまでの積み重ねの成果によるものだろう。最後に全員抱を高く上げ、「ヤッー」の掛け声に、「すごい!!」としか言葉がなかった。

推進指導員の前田さんのテンポ良い司会進行で次々とプログラムが進んでいった。

「青少年育成功労者」として 2 つの団体と個人 4 人に、また「少年を守る店」では、日南ショッピングセンターに感謝状が贈られた。どの方々も、青少年に声をかけ共に行動し、地域のおじさん・おばさんとして積極的に見守りを続けてこられた事への顕彰である。

次に、「家庭の日」の絵画・ポスター作品優秀者の表彰式があった。小学校下学年・小学校上学年の部、そして中学生の部と、まさに暖かな家庭が描かれていた。

そして、「少年の主張」最優秀賞の中学 3 年生の田中悠さんが、「本当の気持ちと本当の仲

間」と題して、大きな勇気を出して本音を言い合えるようになったクラスメートとのかかわりを発表された。中学生らしい力強さと優しさあふれる発表だった。

その後、「携帯・スマホの付き合い方」～保護者（大人）の理解が子ども達を守る！～という講演があった。次々に発せられるネット用語に、恐怖すら感じてしまった。ネットの恐ろしさをこんな風に話された。

「あっという間に広がる。

知らない人にも広がる。

知らない間に広がる。

消すことができない。

絶対に。」



「子どもを守るためには、大人が本気にならなければいけない」と言われたが、一方で子どもや若者を食べ物にしているのも大人であることに苛立ちと情けなさを感じた。

これからも、地域のおじさん・おばさんとして、真正面から子ども達に向き合って行こうと思直した一日だった。

### 編集後記

暑い中、梨色の T シャツを着て、一生懸命おもてなしをした研究集会から早 2 か月が過ぎました。

すっきりとした青空、ピッと引き締まるようなひんやりとした空気、街路樹の紅葉…本当に秋らしくなりました。

今年度初めての通信です。申し訳ございません。次回 66 号はクリスマスの頃に、出したいと思います。誰かさんからのプレゼントとか、ワクワクした思い出など、お聞かせください。お待ちしております。

oine.oine.oinechan@fork.ocn.ne.jp  
(word で入れてください)